



stcli disk コマンド

- [stcli disk コマンド](#) (1 ページ)
- [stcli disk add コマンド](#) (1 ページ)
- [stcli disk list コマンド](#) (2 ページ)

stcli disk コマンド

ストレージクラスタ ディスクに対する操作。

```
stcli disk [-h] {list | add}
```

構文の説明

| オプション | 必須またはオプション | 説明 |
|-------------|--------------|---|
| add | セットのいずれかが必要。 | 検出された新しいディスクと指定されたブラックリスト登録済みのディスクをストレージクラスタに追加します。 |
| list | セットのいずれかが必要。 | ノード内のストレージクラスタ ディスクをリストします。 |

コマンドデフォルト

なし。セット内の1つのオプションが必要。

使用上のガイドライン

stcli disk コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli disk add コマンド

検出された新しいディスクと指定されたブラックリスト登録済みのディスクをストレージクラスタに追加します。

```
stcli disk add [-h] {--id ID | --name NAME} --blacklisted-disk-ids [DISKIDS [DISKIDS ...]]
```

| 構文の説明 | オプション | 必須またはオプション | 説明 |
|-------|---|--------------|---|
| | --id ID | セットのいずれかが必要。 | ストレージクラスタ ノードの ID。 |
| | --name NAME | セットのいずれかが必要。 | ストレージクラスタ ノードの名前。 |
| | --blacklisted-disk-ids [DISKIDS [DISKIDS ...]] | 必須です。 | ストレージクラスタに追加するブラックリスト登録済みのディスク。ID が複数ある場合はスペースで区切ります。 |

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン `stcli disk add` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかと必須の `--blacklisted-disk-ids` オプションを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli disk list コマンド

ノード内のストレージクラスタ ディスクをリストします。

stcli disk list [-h] [--id ID | --name NAME] [--rescan]

| 構文の説明 | オプション | 必須またはオプション | 説明 |
|-------|------------------|--------------|--|
| | --id ID | セットのいずれかが必要。 | ストレージクラスタ ノードの ID。ID は <code>stcli cluster info</code> コマンドに一覧表示されています。local はローカルノードに対してデフォルトです。 |
| | --ip NAME | セットのいずれかが必要。 | ストレージクラスタ ノードの IP アドレス。IP は <code>stcli cluster info</code> コマンドに一覧表示されています。localhost はローカルノードに対してデフォルトです。 |
| | --rescan | オプション。 | ディスクを再スキャンします。 |

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。オプションのデフォルトは、`ID` の場合は `local`、`NAME` の場合は `localhost` です。

使用上のガイドライン `stcli disk list` コマンドでは、位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。



(注) ディスクを取り外してもクラスタ概要情報に表示され続ける場合があります。これを更新するには、HX クラスタを再起動します。
